



やまこえのこえかわこえて

こいでやすこ さく 福音館書店

コイテ

秋の満月の夜、きつねのきつこがおでかけです。山こえ野こえ川こえて、ふもとの町まであぶらげ100枚お買い物。お代は、山のきのこと栗です。こんなにたくさんあぶらげを、きつこはどうするつもりなのでしょう。

ゆきのひ

エズラ=ジャック=キーツ ぶん・え きじまはじめ やく 偕成社

キツ

冬のある朝、ピーターが目をさますと、窓の外は雪が積もっていました。マントを着て外へ飛び出したピーターは、両足を引きずって筋をつけたり、雪だるまを作ったりして、一日中雪と遊びました。その夜、ピーターが見た夢は……。



よかったね ネットくん

シャーリップ さく やぎたよしこ やく 偕成社

シヤリ

びっくりパーティーに招待されたネットくん。ニューヨークから遠いフロリダへ出発したのはいいけれど……いいこと、悪いこと、次々とネットくんにふりかかります。さあ、ネットくんは無事パーティーにたどり着けるのでしょうか。

ラージャのカレー

国松エリカ 偕成社

クニマ

ラージャは南の島のカレー屋です。朝、涼しいうちからカレー作りが始まります。そのにおいは人々を励まし、元気づけ、お昼の時間を知らせ、食べるとたちまち元気になります。やがてカレーのにおいは入道雲まで届き……。



ラチとらいおん

マレーク・ペロニカ ぶん・え とくながやすもと やく 福音館書店

マレク

ラチは弱虫な男の子。犬も、暗い部屋も、友だちさえもこわいのです。ある朝、ラチの前に小さな赤いらいおんが現れました。らいおんは、ラチを強くしてくれると言うのです。らいおんと遊ぶうちに、ラチは自信がついてきました。

りんごのき

エドアルド・ベチシカ ぶん ヘレナ・ズマトリーコパー え うちだりさこ やく 福音館書店

スマート

雪が積もった冬の日、マルチンは、ぼうきれるようなりんごの木を見つけました。春の日も夏の日も、マルチンは友だちとおしゃべりするようになりんごの木に話しかけます。そして秋の日、赤いりんごの実がなりました。



ロージーのおさんぼ

バット=ハッチンス さく わたなべしげお やく 偕成社

ハツチ

めんどりのロージーが、お散歩におでかけです。するがしこそうなきつねが、ロージーをねらって後から追いかけてきます。何も知らないロージーは、すたすた歩いていきますが、きつねは、ユーモラスな失敗をくりかえして……。

ロバの子シュシュ

フランソワーズ さく・え ないとうりえこ やく 徳間書店

セニヨ

シュシュは、小さなロバの子です。子どもたちと一緒に写真を撮るのが仕事です。ある日、シュシュはおやつをくれた男の子の指を、間違えてかじってしまいました。さあたいへん！シュシュは、ろうやに入れてしまいました。



わたしと あそんで



わたしとあそんで

マリー・ホール・エッツ ぶん・え よだじゅんいち やく 福音館書店

エツツ

朝の野原に、小さな女の子が出かけていきました。「あそびましょ」と誘っても、動物たちはみんな逃げて行ってしまいます。ところがじつとしてみると、今度みんな戻ってきて、女の子と遊んでくれるのでした。

わたしのワンピース

にしまさかやこ え・ぶん こぐま社

ニシマ

空からふわふわ落ちてきたまっ白なきれ。ウサギは、ミシンでワンピースを作りました。お花ばたけを散歩したら、あら不思議！ワンピースが花模様になりました。雨が降ってきたら水玉模様。次はどんな模様になるのかな？



ちょっとひとやすみ ⑨



すぐれた絵本を選ぶ目安のひとつに、“成人式を迎えた絵本”というものがあります。出版されてから20年以上経つものという意味です。出版社は、売れない本はすぐに絶版としてしまいます。そのような中で、長い間発刊され続けたということは売れた、つまり子どもたちに喜ばれている、選ばれ続けているということです。本の最後のページに奥付が表示されています。ぜひ見てくださいね。